

2021年5月10日
東日本旅客鉄道株式会社
一般社団法人日本パラスポーツ推進機構
株式会社 JR 東日本クロスステーション

健康と障がいを考えるスペース「ウェルネスステーション東京 2021」を 東京駅 グランルーフに開設します

～パラスポーツ・障がい者の自立支援を通して持続可能な共生社会づくりを考える～

- 東日本旅客鉄道株式会社（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：深澤祐二）、一般社団法人日本パラスポーツ推進機構（本部：東京都中央区、代表理事：砂野吉貞）および株式会社 JR 東日本クロスステーション（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：西野史尚）は3者協力のもと、東京駅グランルーフに「ウェルネスステーション東京 2021」と題して「健康と障がいを考えるスペース」を開設いたします。
- 「ウェルネスステーション東京 2021」では、より多くの人に「健康」について考えてもらい、障がい者の「健康促進と自律支援」について理解を深めてもらえるよう、自己測定できるヘルスチェックやパラスポーツの紹介・体験、農福連携マルシェ、音楽演奏などの各種イベントを実施いたします。

（1）「ウェルネスステーション東京 2021」の概要

名 称：ウェルネスステーション東京 2021（Wellness Station TOKYO 2021）

開 設 場 所：東京駅八重洲口（改札外） グランルーフ 2 階

期 間：2021 年 5 月 12 日（水）～9 月 5 日（日）

時 間：11 時～21 時（平日・土曜） 11 時～20 時（日曜・祝日）

※翌日が休日の日曜・祝日は 21 時まで

内 容：「健康」と「障がい」を共通テーマに、パラスポーツ体験、農福連携マルシェの開催、血管・脳年齢などの健康測定、音楽演奏など、ウェルビーイング※を感じることができるイベントを実施します。

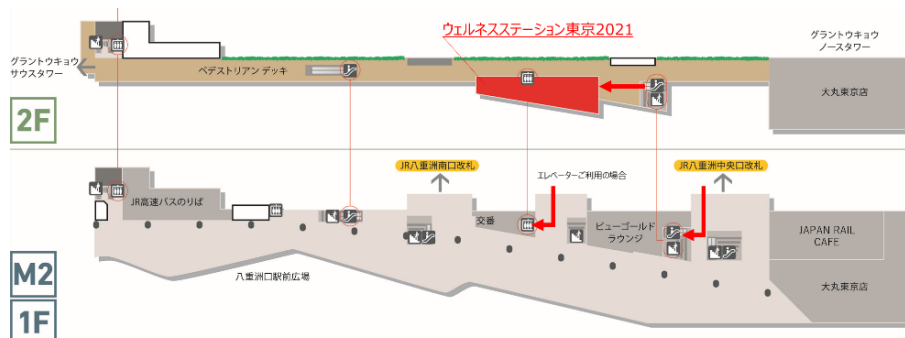
※…ウェルビーイングとは、身体的・精神的・社会的に良好な状態にあることを意味する概念のこと。

主 催：一般社団法人日本パラスポーツ推進機構

特 設 HP：<https://apspj.org/wellness-station-tokyo-2021/>

なお、新型コロナウイルス感染症の状況により、実施内容は変更となる可能性があります。

<会場案内図>



(2) 実施イベントコンテンツ

■体験

- ・ パラスポーツ（ボッチャ）体験ゾーンの設置
- ・ 血管年齢や脳年齢を自己測定できるヘルスチェックコーナーの設置

■展示

- ・ 本田技研工業（株）が開発した、競技用車いすレーサー「翔（KAKERU）」の展示

■販売

- ・ 「パラスポ農福連携マルシェ」（パラマルシェ）
- ・ 協賛企業の協力による健康食品・健康飲料の販売
- ・ 障がい者が描いたキャラクターや絵画を使用した商品の販売

■紹介

- ・ パラスポーツ競技、選手、サポーターの活動の紹介
(JR 東日本グループ社員 2 名を含む)
- ・ 「障がい者の自立支援」の取り組みの紹介
- ・ 企業や自治体の SDGs や社会貢献活動、共生社会づくりに向けた取り組みの紹介

■音楽

- ・ 学生や社会人、シニア世代が楽しめる音楽イベント「Music Station Tokyo」の開催



▲展示車両「翔（KAKERU）」



▲パラスポーツ（ボッチャ）体験ゾーン（イメージ）



▲パラスポ農福連携マルシェ（イメージ）



▲Music Station Tokyo

(参考) 一般社団法人日本パラスポーツ推進機構について

(1) 概要

- 法人名：一般社団法人日本パラスポーツ推進機構
Association of Para-Sports Promotion in Japan (APSPJ)
- 代表理事：砂野吉貞
- 設立：2016 年 11 月 4 日

(2) 設立趣旨

- スポーツ（パラスポーツ）を通して、障がい者の社会参加を広げ、活力ある社会を創造します。
- 産官学の連携により、多くの障がい者がパラスポーツを楽しむことが出来るよう、支援体制の強化を図ります。
- 企業の社員教育研修を通して、パラスポーツに対するよき理解者、協賛・協力者、ならびに協賛・協力企業を増やし、パラスポーツ指導者やボランティアとして活躍するひとを増やすための基盤づくりを行います。
- 障がい者がスポーツのみならず、芸術や文化など幅広い分野での活動を通して地域住民と共生し、更には、農福連携事業分野などへの就労促進も含めた自立を目指せるよう、支援の輪を広げていきます。